

## 希望会の歴史

### \* 希望会の前身

昭和 39 年に国立名古屋病院（現 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）精神保健福祉士の呼びかけで卓球大会を開催（参加 8 施設）しました。

その後、「市内精神科病院交流卓球大会」「市内精神科病院交流会ソフトボール大会」として、名古屋病院がソフトボールの運営を、他の施設の持ち回りで卓球大会が行われてきました。

### \* 希望会の発足と現在

昭和 53 年 事務局を愛知県立城山病院へ移転、これを機に会の名称を「希望会」としました。その後、スポーツ事業のみでなく文化事業にも活動を広げ現在に至っています。

現在は事務局を城山病院におき、他の病院、クリニック、作業所、援護寮、名古屋市精神保健センターと共同で運営に当たっています。

## 沿 革

昭和 39 年 5 月	国立名古屋病院精神科の呼びかけで卓球大会を開催（参加 8 施設） 以後 年 2 回のスポーツ大会（卓球・ソフトボール）を開催
昭和 53 年 3 月	希望会の発足 会の名称を「希望会」とし、事務局を城山病院におき、行事の運営を行う （第 1 回ソフトボール大会、第 1、2 回卓球大会を実施）
昭和 54 年	作品展示バザーの開始（星が丘三越にて 6 日間実施）
昭和 56 年	国際障害者年にあわせ体育祭の開催（1 年のみ開催）
昭和 61 年	ゲートボール大会の開催（愛知青少年公園）
平成 1 年	卓球大会にて綱引きをデモンストレーションにて行なう [~平成 4 年]
平成 3 年	健康フェスティバルにパネル、作品展示・ビデオ放映・チラシ配布を実施
平成 5 年	レクリエーション研修会の開始 [~平成 10 年]
平成 8 年	愛知県よりスポーツ事業運営のため委託費の受給
平成 10 年	希望展の開始（中小企業センターにて 2 日間開催）
平成 11 年	作品展示バザーの会場が福祉フェスティバルに変更
平成 12 年	ゲートボール大会にて審判を名古屋市ゲートボール協議会に依頼
平成 12 年	作品展示バザーの会場を金山駅連絡通路橋内に変更

平成 13 年	希望展の会場を愛知芸術文化センターに変更（6 日間開催）
平成 13 年	名古屋市身体障害者作品展示会に参加
平成 15 年	希望会の運営を城山病院主体から複数の加入施設による共同運営へ
平成 16 年	精神障害者バレーボール大会（愛知県大会）の主催
平成 18 年	希望展の会場受付を愛知県精神保健福祉ボランティア連絡協議会に依頼
平成 20 年	希望展の会場受付のボランティアに当事者の募集を試みる
平成 20 年	賛助会員を募集開始（H21 年度 1 名・H22 年度 22 名加入）
平成 20～21 年	希望展にてシンボルマークを募集し選考の上決定